



EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル

# インストールガイド

Version 1.12 Dec. 2011

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

#### 商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server® および Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM® および PC/AT® は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

EPSON® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ESC/POS® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

引用している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

---

<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>第2章 インストール</b> .....	<b>2</b>
2.1 インストーラの起動 .....	2
2.2 言語の選択 .....	3
2.3 はじめに .....	4
2.4 使用許諾契約 .....	5
2.5 インストールタイプの選択 .....	6
2.6 インストールコンポーネントの選択 .....	7
2.7 ショートカットフォルダの選択 .....	8
2.8 接続方法の選択 .....	9
2.9 設定内容の確認 .....	10
2.10 完了 .....	11
2.11 再起動 .....	12
<b>第3章 インストール内容の変更、アンインストール</b> .....	<b>13</b>
3.1 インストール内容の変更、アンインストールの開始 .....	13
3.2 実行オプションの選択 .....	13
3.3 コンポーネントの選択 .....	15
<b>第4章 アップグレード</b> .....	<b>16</b>
4.1 アップグレードの開始 .....	16
4.2 アップグレードの概要 .....	17
4.3 アップグレードの状況 .....	18
4.4 アップグレードの完了 .....	19
<b>第5章 サイレントインストーラ/アンインストーラ</b> .....	<b>20</b>
5.1 サイレントインストールの流れ .....	20
5.2 デバイス登録情報の準備 .....	20
5.3 インストールスクリプトの作成 .....	21
5.4 インストール、アンインストールの実行 .....	21
<b>第6章 強制アンインストール</b> .....	<b>23</b>
6.1 強制アンインストールの実行 .....	23

# 第1章 はじめに

---

---

EPSON OPOS ADK for .NET をインストールするにあたり、以下のようなハードウェア、およびソフトウェア構成が必要です。

- コンピュータ本体
  - IBM PC/AT 互換機
    - CPU やメモリなどのパソコンの動作環境については、各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。
    - 本ソフトウェアは、ハードディスクの空き容量が最低でも 10M バイト必要です。
- オペレーティングシステム

Windows Embedded for Point Of Service	日本語版
Windows XP Professional SP3	日本語版 (32 ビット版)
Windows Vista (Business, Enterprise, Ultimate) SP2	日本語版
Windows Server 2008 SP2	日本語版
Windows Server 2008 R2	日本語版
Windows 7 (Professional, Enterprise, Ultimate) SP1	日本語版
Windows Embedded Standard	日本語版
Windows Embedded POSReady 2009	日本語版
Windows Embedded POSReady 7	日本語版
- .NET Framework
  - Microsoft .NET Framework 2.0
  - Microsoft .NET Framework 3.0
  - Microsoft .NET Framework 3.5
- POS for .NET
  - Microsoft POS for .NET 1.12
  - WEPOS と POSReady 以外の OS に EPSON OPOS ADK for .NET をインストールする前に、Microsoft POS for .NET SDK をあらかじめインストールしておく必要があります。

## 第2章 インストール

---

### 2.1 インストーラの起動

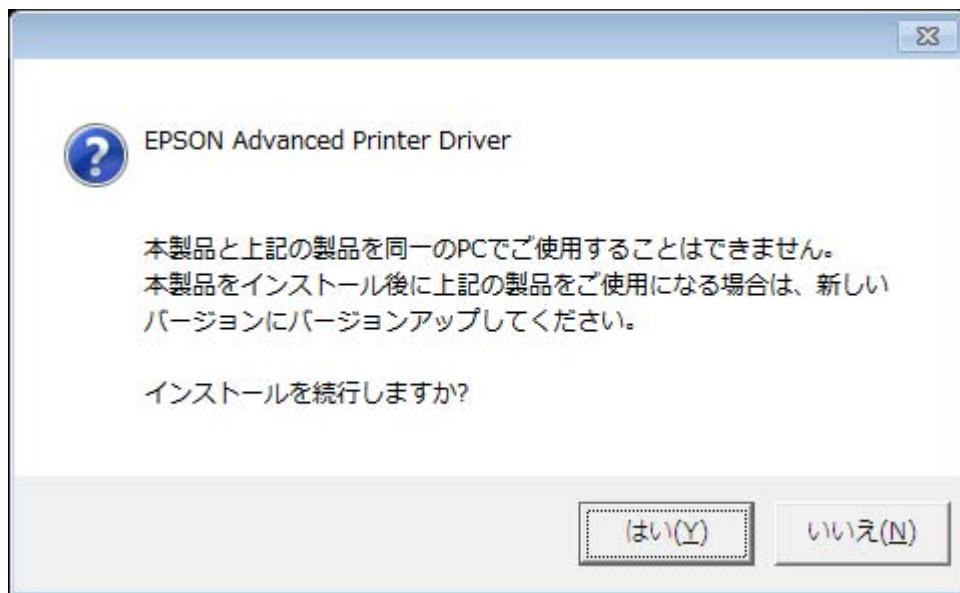
「setup.exe」を実行します。

言語を選択する画面が表示されます。インストーラを実行するには管理者権限が必要となります。インストーラが管理者権限で実行されない場合、エラーメッセージが表示されて終了します。

Windows Vista、Windows 7をお使いの場合：はじめに「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。「続行」ボタンをクリックします。

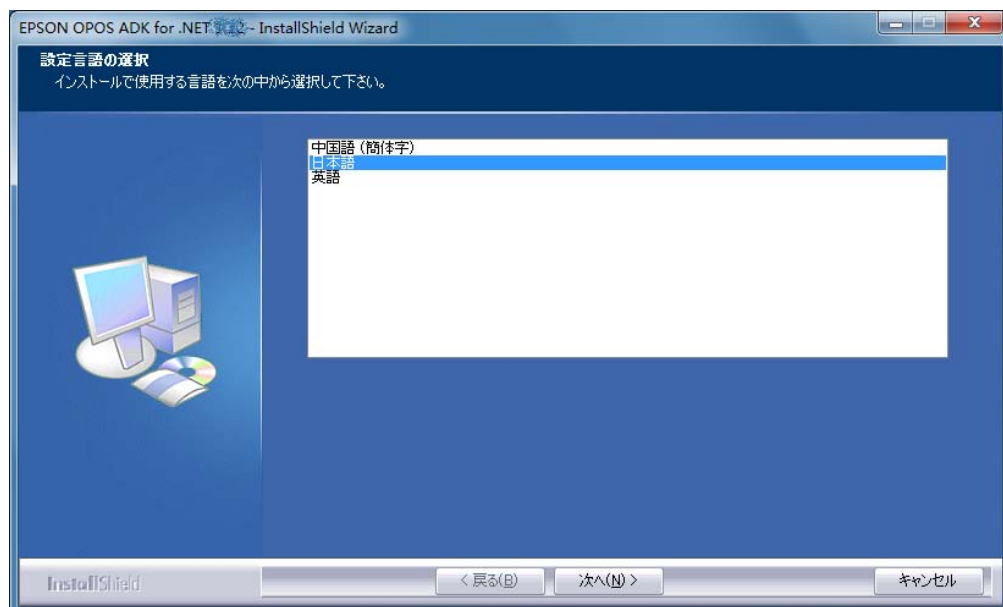


本バージョンと共存をサポートしていない EPSON 製ソフトウェアのバージョンがインストールされている場合には、次のメッセージが表示されます。メッセージに従い、インストールを続行するかどうかを選択してください。



## 2.2 言語の選択

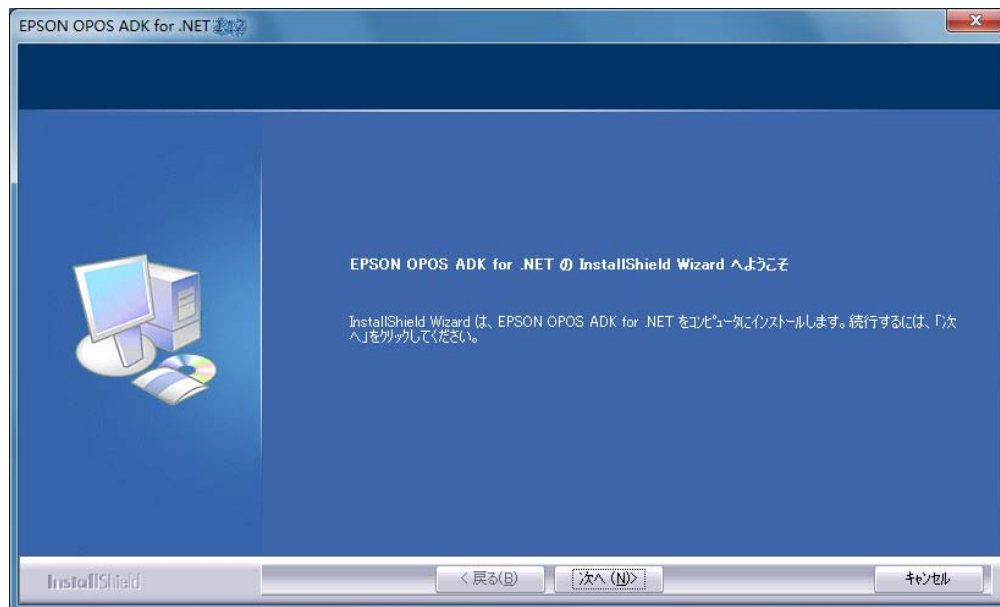
インストールで使用する言語を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



ウェルカムメッセージが表示されます。

## 2.3 はじめに

[ 次へ ] ボタンをクリックします。

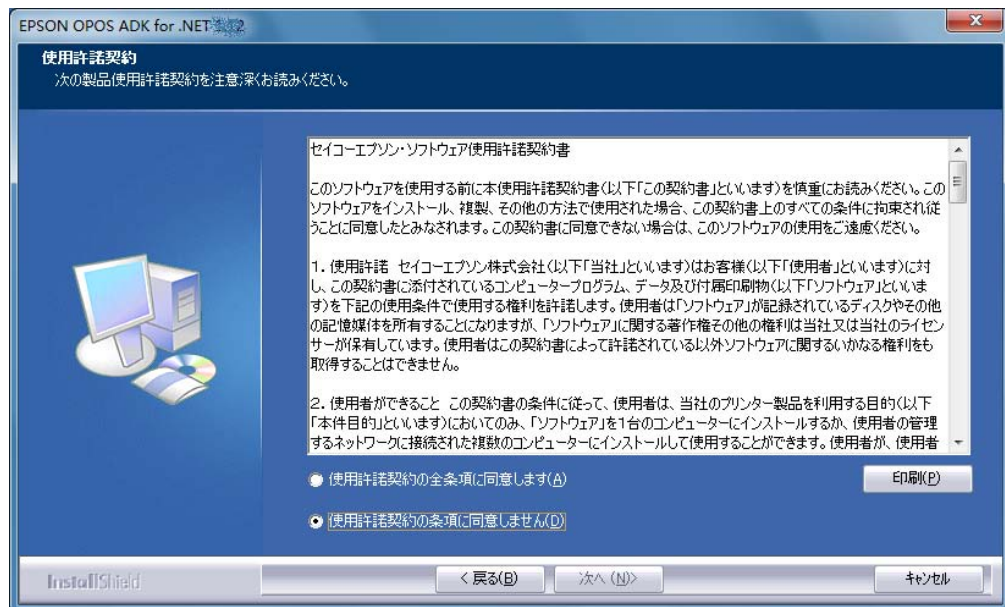


使用許諾契約画面が表示されます。

## 2.4 使用許諾契約

記載内容をすべて確認した後、[ 使用許諾契約の全条項に同意します ]を選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。

[ 使用許諾契約の全条項に同意します ] を選択していない場合、[ 次へ ] ボタンをクリックできません。



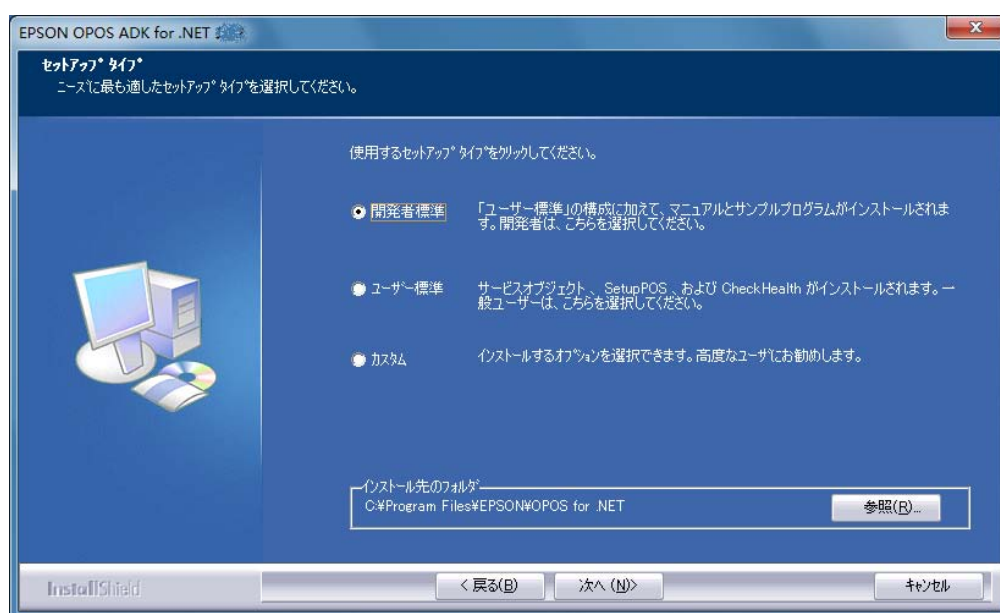
インストールタイプを選択する画面が表示されます。



## 2.5 インストールタイプの選択

実行するインストールのタイプを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

- [開発者標準] を選択すると、サービス、セットアップユーティリティ、付属文書、サンプルなどがインストールされます。
- [ユーザー標準] を選択すると、サービスとセットアップユーティリティがインストールされます。
- [カスタム] を選択すると、インストールするオプションを選択できます。



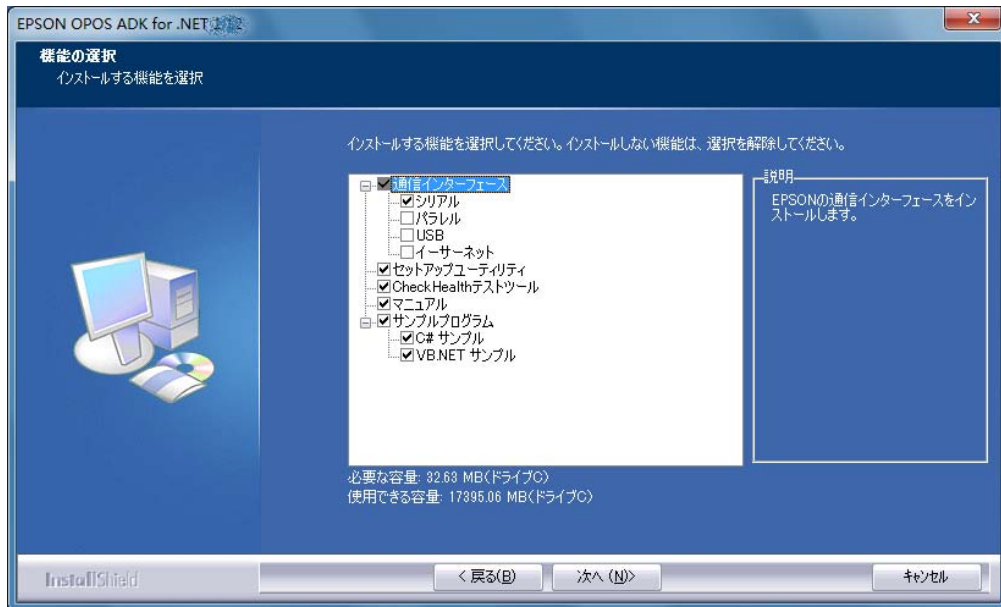
[開発者標準]、または[ユーザー標準]を選択した場合は、接続方法を選択する画面が表示されます。「[2.8 接続方法の選択](#)」に進んでください。

[カスタム]を選択した場合は、インストールするコンポーネントを選択する画面が表示されます。「[2.6 インストールコンポーネントの選択](#)」に進んでください。

インストールするフォルダを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックし、フォルダを選択します。デフォルトのインストールフォルダは「%Program Files%\EPSON\OPOS for .NET」です。

## 2.6 インストールコンポーネントの選択

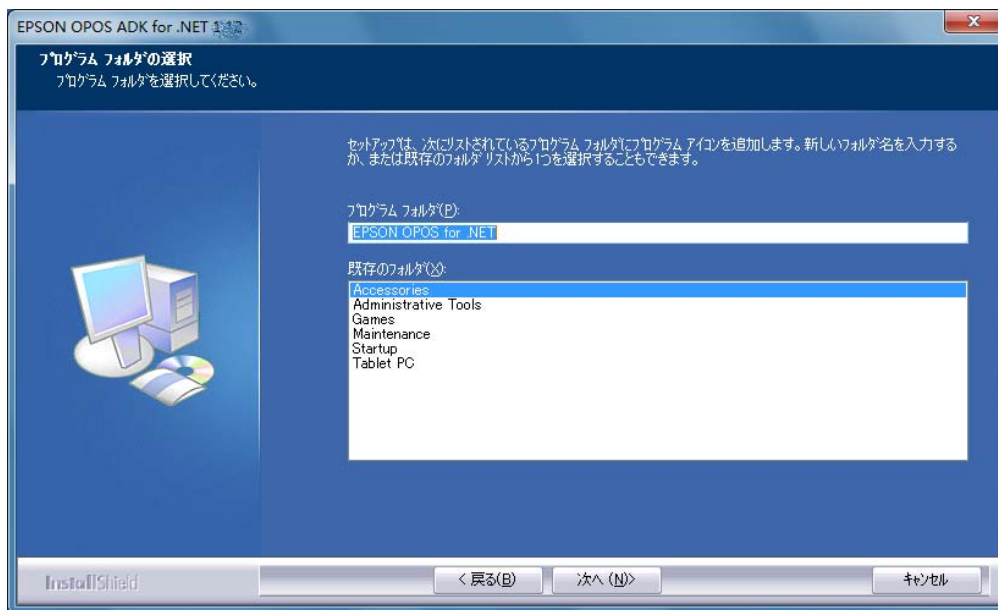
インストールするコンポーネントを選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



ショートカットフォルダを選択する画面が表示されます。

## 2.7 ショートカットフォルダの選択

「スタートメニュー - プログラム」にショートカットを作成します。  
ショートカットを作成するフォルダを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。  
デフォルトのフォルダは「EPSON OPOS for .NET」です。  
[Program Folder] に何も指定されていない場合は、次の画面に進むことができませんのでご注意ください。



接続方法を選択する画面が表示されます。

## 2.8 接続方法の選択

シリアル、パラレル、USB、イーサネットの中から使用する接続方法を選択し、  
[次へ] ボタンをクリックします。

複数の接続方法を選択できます。

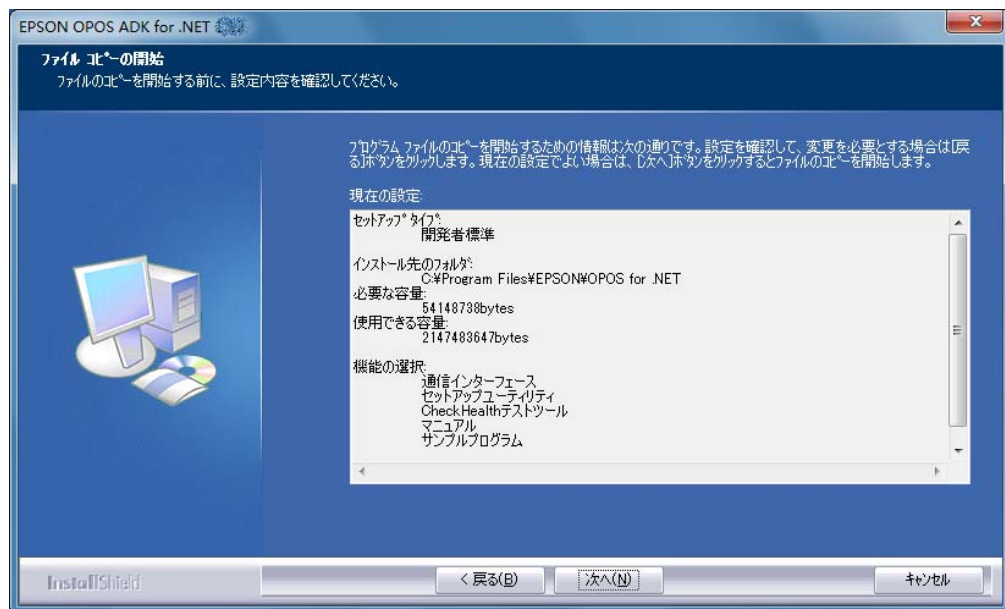


設定内容を確認する画面が表示されます。

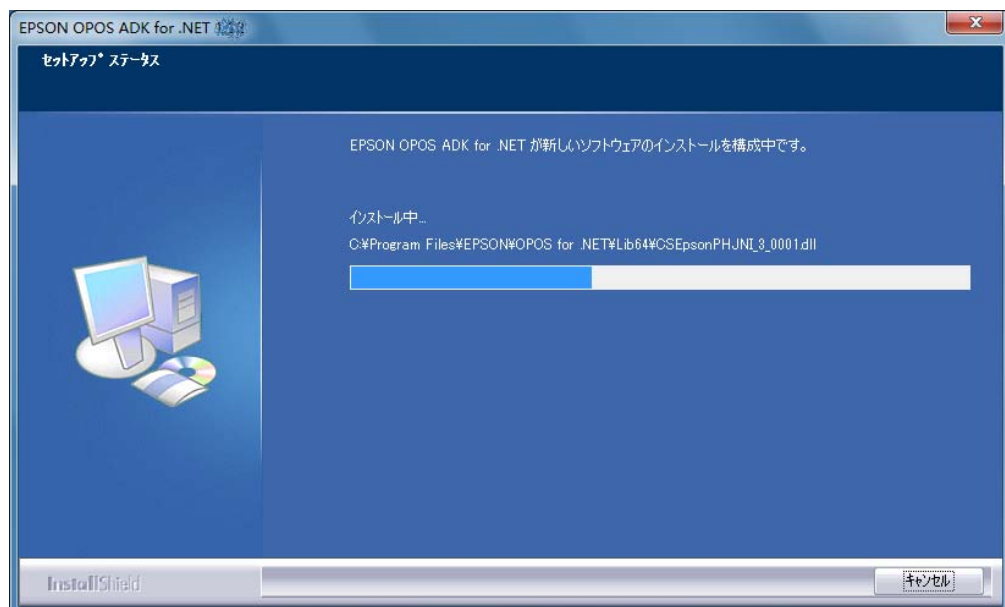
## 2.9 設定内容の確認

設定内容を確認します。

設定が適切な場合は、[次へ] ボタンをクリックします。



インストールが開始され、進行状況を示すステータスバーが表示されます。

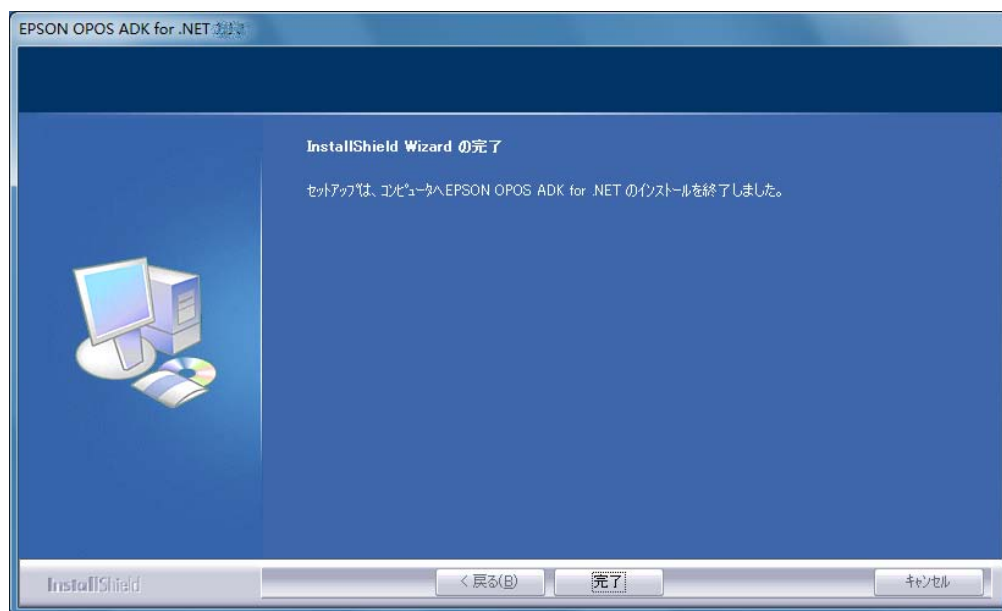


インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

## 2.10 完了

これでインストールは完了です。

[完了] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。



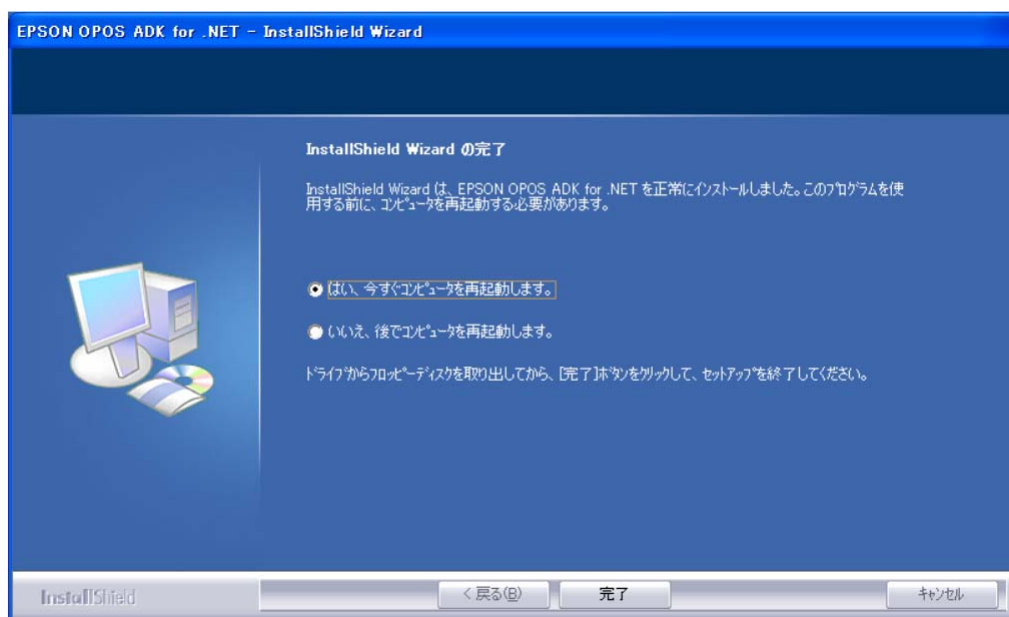
直ちに EPSON OPOS ADK for .NET を使用することができます。

## 2.11 再起動

インストールするファイルを更新できなかった場合や、EPSON OPOS ADK for .NET が使用するデバイスドライバがインストールされた場合は、システムの再起動が必要です。

[ はい、今すぐコンピュータを再起動します。 ] を選択し、[ 完了 ] ボタンをクリックします。

システムを後で再起動する場合は、[ いいえ、後でコンピュータを再起動します。 ] を選択し、[ 完了 ] ボタンをクリックします。



システム再起動後、EPSON OPOS ADK for .NET を使用することができます。

## 第3章 インストール内容の変更、アンインストール

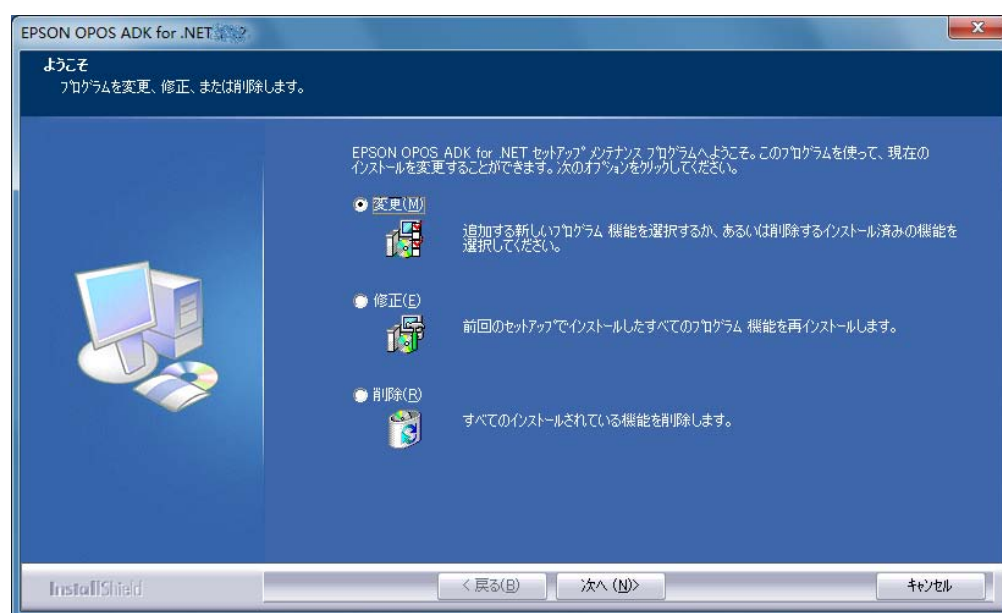
### 3.1 インストール内容の変更、アンインストールの開始

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を起動し、EPSON OPOS ADK for .NET の [ 変更 ] ボタン、または [ 削除 ] ボタンをクリックします。

[ 変更 ] ボタンをクリックした場合は、実行オプションを選択する画面が表示されます。

### 3.2 実行オプションの選択

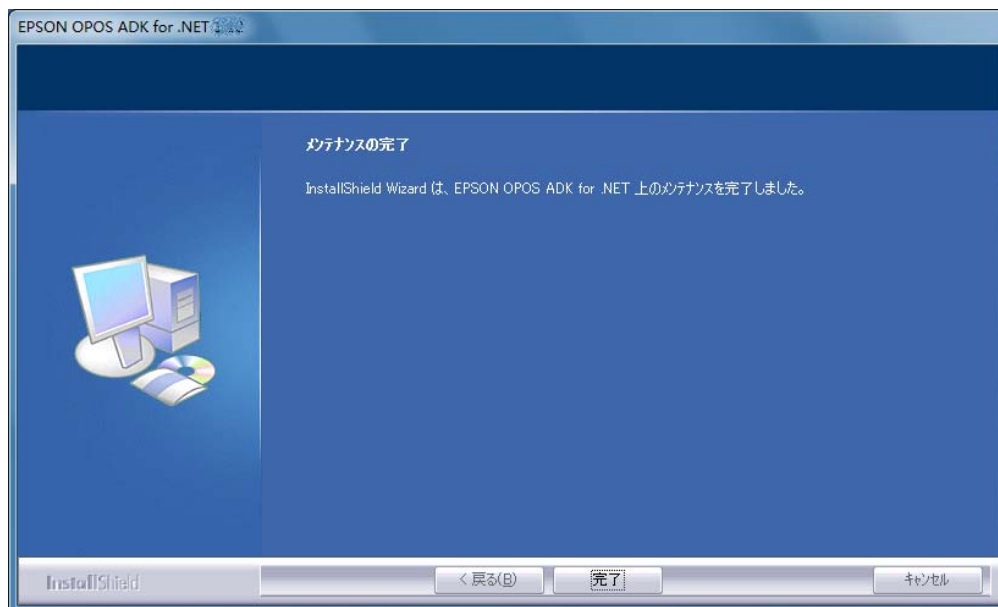
[ 変更 ] / [ 修正 ] / [ 削除 ] から実行オプションを選択し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



- [ 変更 ] を選択すると、追加、削除するコンポーネントを選択する画面が表示されます。「[3.3 コンポーネントの選択](#)」に進んでください。



- [ 修正 ] を選択すると、前回と同じ設定内容のインストールを再度実行します。  
インストールが完了すると以下の画面が表示されます。 [ 完了 ] ボタンをクリックして終了します。

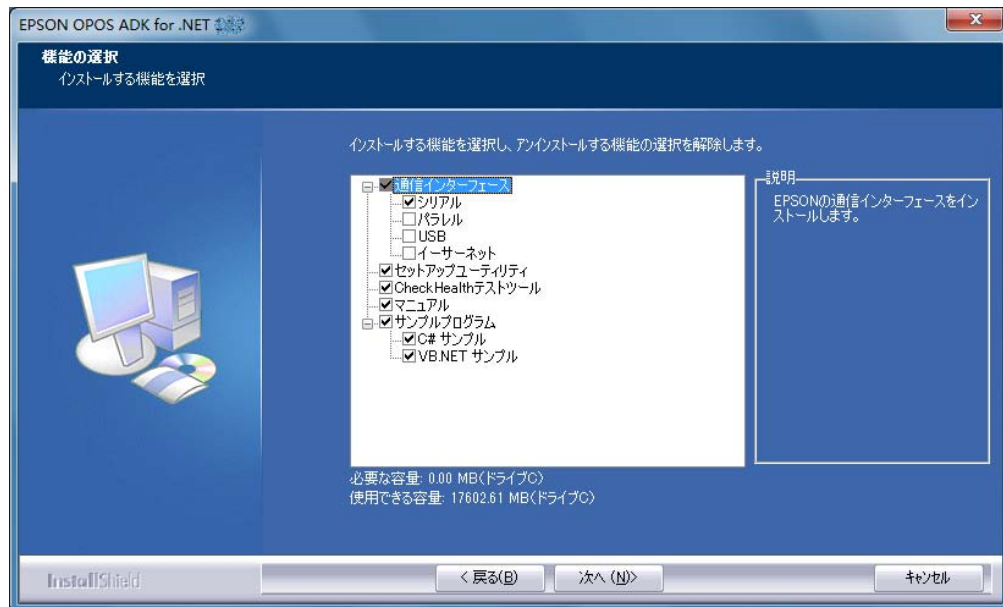


- [ 削除 ] を選択すると、アンインストールを開始します。  
アンインストールが完了すると以下の画面が表示されます。 [ 完了 ] ボタンをクリックして終了します。

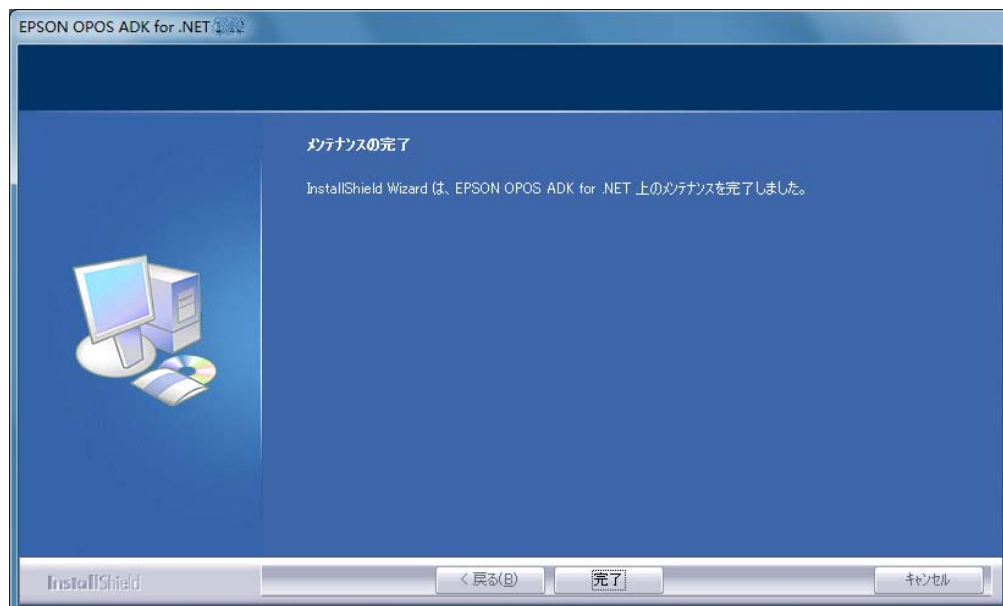


### 3.3 コンポーネントの選択

追加するコンポーネントにチェックを付け、削除するコンポーネントからチェックを外します。追加、削除するコンポーネントが確定したら、[次へ] ボタンをクリックします。



コンポーネントの変更処理が開始します。処理が完了すると以下の画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックして終了します。



## 第4章 アップグレード

---

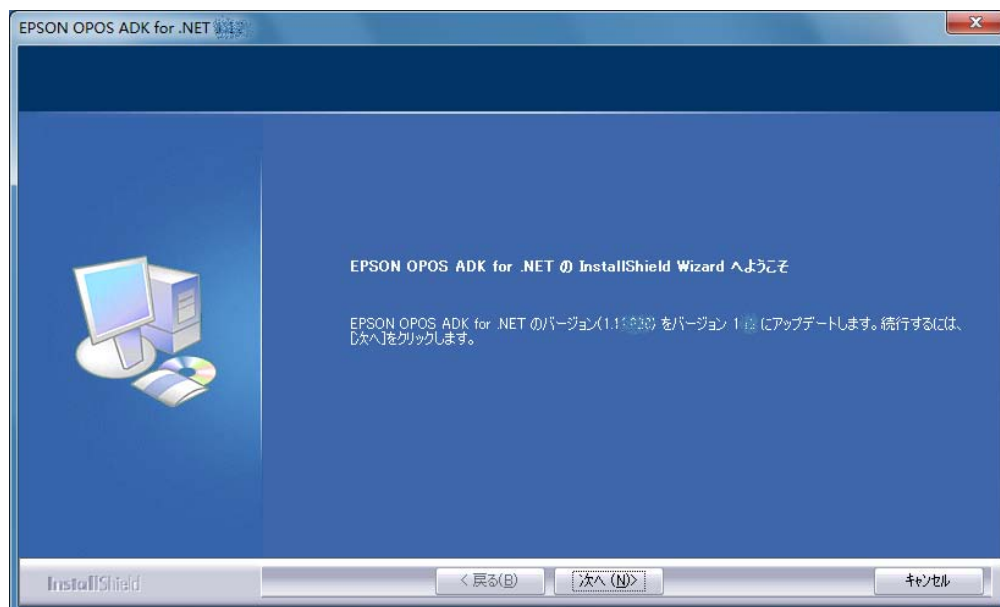
### 4.1 アップグレードの開始

インストーラの初期化で EPSON OPOS ADK for .NET の前バージョンが検出された場合は、インストーラは自動的にアップグレードモードに入ります。

アップグレードされる前バージョンと、アップグレードする新バージョンが以下の画面に表示されます。

表示された内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

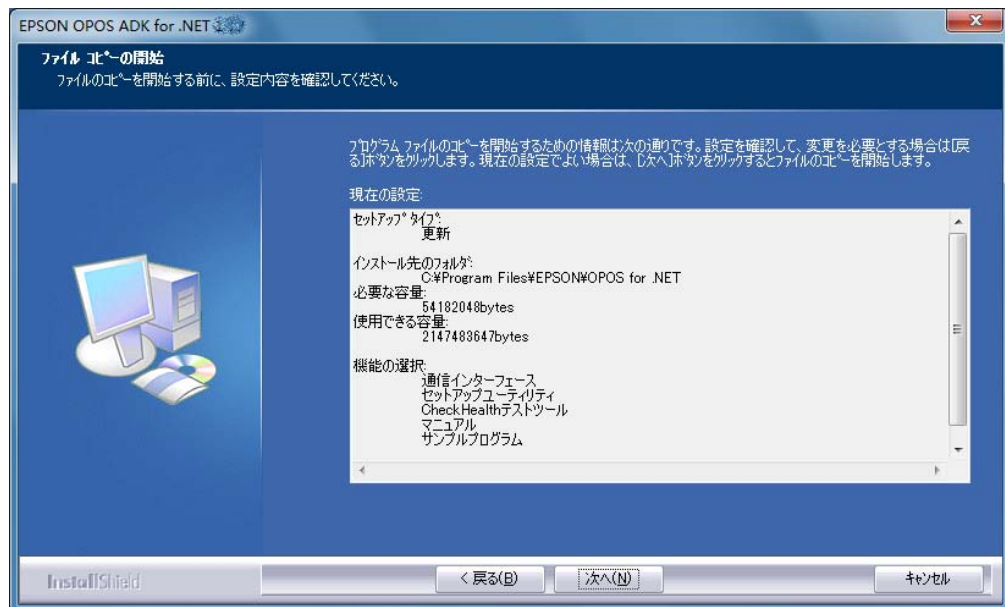


## 4.2 アップグレードの概要

アップグレードされるコンポーネントとファイルサイズの概要が以下の画面で表示されます。

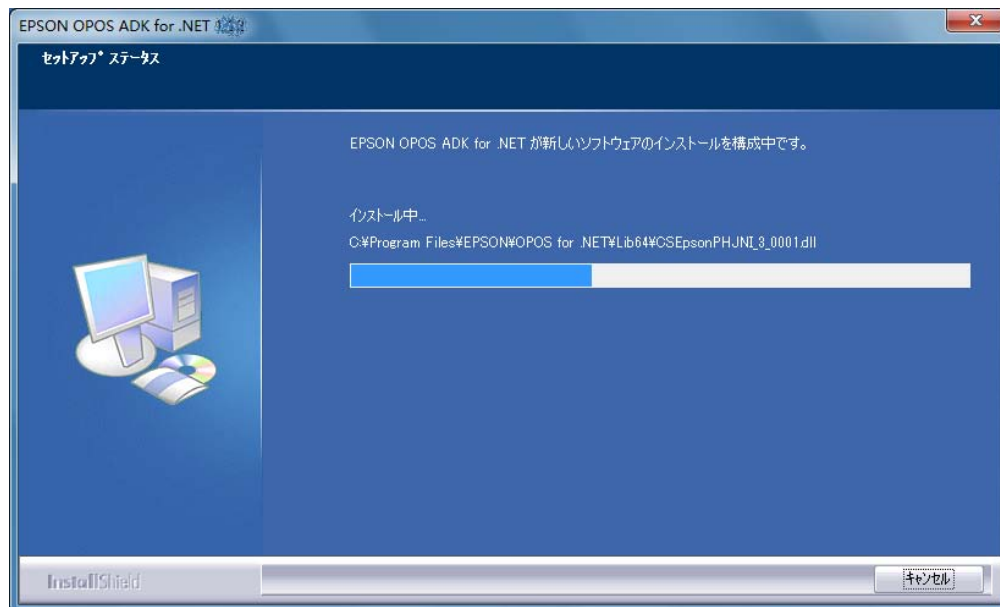
前の画面に戻る場合は、[戻る] ボタンをクリックします。

インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



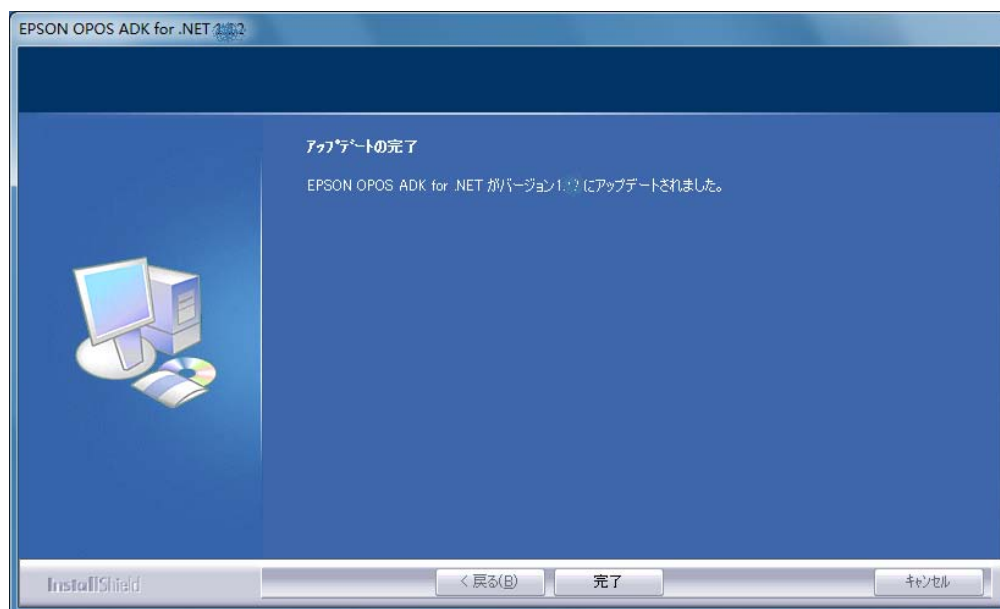
### 4.3 アップグレードの状況

アップグレードが開始され、進行状況を示すステータスバーが表示されます。



## 4.4 アップグレードの完了

アップグレードが完了すると、以下の画面が表示されます。  
[完了] ボタンをクリックして終了します。



EPSON OPOS ADK for .NET 1.11.20 以前のバージョンで下記のデバイスを登録していた環境に本バージョンを上書きインストールした場合には、インストールが完了した後にデバイスを再登録してください。

**POSPrinter :**

TM-H6000II, TM-H6000III, TM-T88III, TM-T88IV, TM-T70, TM-T90, TM-L90,  
TM-U220A, TM-U220B, TM-U220D

**LineDisplay :**

全機種

**CashDrawer :**

全機種

**MICR :**

全機種

**Checkscanner :**

全機種

**ElectronicJournal :**

全機種

## 第5章 サイレントインストーラ / アンインストーラ

---

---

### 5.1 サイレントインストールの流れ

サイレントインストールの手順は以下の通りです。

1. デバイス登録情報の準備
2. インストールスクリプトの作成
3. インストールの実行

### 5.2 デバイス登録情報の準備

サイレントインストールを行うには、デバイスの登録情報が必要です。

以下の手順に沿って実行してください。

- (1) SetupPOS で使用するデバイスの登録を行ってください。
- (2) 情報収集用のツール(CollectCopyInstallModules)を使用して、デバイス登録情報の収集を行ってください。ツールは、インストール先のフォルダと同じ場所にあります。

<例>

```
%Program Files%\EPSON\OPOS for .NET\CollectCopyInstallModules.bat
```

ツールを実行すると、ツールと同じ場所に EpsonCopyInstallModules ディレクトリが作成されます。その中に、サイレントインストールで使用する下記のファイルが格納されます。

- Configuration.xml
- pcs.properties

このファイルをインストールメディアにコピーします。

### 5.3 インストールスクリプトの作成

コマンドプロンプトを使用して、「setup.exe」に「/r」を付けて実行します。

<例>

```
setup.exe /r
```

セットアップが終了すると、%WINDIR%に「setup.iss」ファイルが作成されます。「5.2. デバイス登録情報の準備」で情報収集用のツールを実行すると、%WINDIR%にある「setup.iss」がEpsonCopyInstallModulesディレクトリの中に格納されます。このファイルをインストールメディアにコピーします。

情報収集ツールをお使いになる場合には、ファイル名を変更しないでください。ファイル名を変更した場合は、正しい情報の収集ができません。

サイレントアンインストール用のスクリプトファイルは、EPSON OPOS ADK for .NET をインストールしたときに、インストールディレクトリにインストールされます。ファイル名は“Uninstall.iss”です。このファイルをインストールメディアにコピーします。ファイル名は変更可能です。

### 5.4 インストール、アンインストールの実行

インストールスクリプト(setup.iss) / アンインストールスクリプト(Uninstall.iss)を使用して、「setup.exe」を実行します。

<例>

```
setup.exe /s /f1"< 絶対パス>¥<ISS ファイル>"
```

ログファイルが「/f1」オプションと同じディレクトリに作成されます。ログファイルの名前は「setup.log」です。

ログファイルのディレクトリやファイル名を変更したい場合は、「/f2」オプションを使用します。

<例>

```
setup.exe /s /f1"< 絶対パス 1>¥<ISS ファイル名>" /f2"< 絶対パス 2>¥<ログ  
ファイル名>"
```



サイレントアンインストールを実行する場合は、必ず「/f2」オプションを指定してください。「/f2」を使用しない場合、アンインストール時にインストールフォルダを削除できない場合があります。

**<例>**

```
“%ProgramFiles%\InstallShield Installation Information\
{1CAEBFF7-6FA0-4C07-BEEB-014AF3CAC97E}\setup.exe” /s /f1”<インストール
ディレクトリ>\Uninstall.iss” /f2”c:%setup.log”
```

**<注意>**

- 「/f1」オプションには絶対パスを設定してください。
- 同じ環境、および手順で作成されたインストールスクリプトだけがサポートされます。新規にインストールするために作成されたスクリプトは、アップグレードインストールなどで使用することはできません。インストールスクリプトは、環境や手順ごとに作成される必要があります。

## 第6章 強制アンインストール

---

---

### 6.1 強制アンインストールの実行

OPOS.NET を再インストールできない状況が発生した場合には、強制アンインストールのオプションを使って問題を解決することができます。このオプションを使うには、「/z "uninstall"」のパラメータを付けてインストーラを実行してください。

<例>

```
setup.exe /z "uninstall"
```

完了後、OPOS .NET を再インストールするために、このパラメータを付けずに再度インストーラを実行してください。